



帝京がんセミナー

～ がん骨転移の治療とケア ～

日時 2016年2月10日（水）18:30～20:00

会場 帝京大学 本部棟2階 臨床大講堂
東京都板橋区加賀2-11-1 03-3964-1211（代表）

さまざまながん人口の高齢化とともに、がんと診断される患者さんも増えてきています。乳がん、肺がん、消化器がんをはじめとするさまざまながんが、骨への転移を起こします。骨転移に伴う痛みや運動障害などにより、患者さんの予後やQOLに大きな影響を及ぼします。

このたび帝京大学がんセミナーでは、「がん骨転移の治療とケア」をテーマに、医療、看護、リハビリテーション、緩和ケアなどさまざまな視点から、がんの骨転移の事例を議論し、よりよい治療とケアについて考えます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開会のご挨拶
(18:30～)

帝京大学医学部外科学講座 主任教授
附属病院 副院長・帝京がんセンター長 川村雅文

講演 1
(18:35～)

「変わりゆく骨転移診療」
帝京大学医学部 整形外科学講座 主任教授 河野博隆

講演 2
(18:55～)

「がん骨転移でいかに運動機能を維持していくか
ー リハビリによる、安全に廃用を防ぐ工夫 ー」
帝京大学医学部 リハビリテーション科 教授 緒方直史

講演 3
(19:10～)

「突出的な骨痛に対処する～レスキューの使い方」
帝京大学医学部 緩和医療学講座 教授 有賀悦子

講演 4
(19:25～)

「骨転移の看護」
帝京大学医学部附属病院 看護部 大部奈緒子

講演 5
(19:40～)

「骨吸収抑制剤の臨床における使用上の注意点」
帝京大学医学部附属病院 薬剤部 御澤勝将

閉会のご挨拶
(19:55～)

帝京大学医学部 整形外科学講座 主任教授 河野博隆

●総合司会：帝京大学医学部 整形外科学講座 准教授 阿部哲士

●企画立案：帝京大学医学部 内科学講座 准教授 渡邊清高

申込方法：裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

日本医師会生涯教育講座認定学術単位（CC10-チーム医療、CC73-慢性疾患・複合疾患の管理）として1単位が認定されます。

主催 帝京がんセンター

共催 帝京大学医師会・帝京大学医学部附属病院・がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・
帝京大学医学部附属病院 医療連携室

後援 板橋区医師会・北区医師会・豊島区医師会・練馬区医師会・蕨戸田市医師会・川口市医師会